

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 部分公開
	<input type="checkbox"/> 非公開	

令和5年度浜松市社会福祉審議会

第3回高齢者福祉専門分科会会議録

- 1 開催日時 令和5年9月22日（金）午後3時00分から午後4時20分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況
- 委員（10人）
- 石川 恵一（浜松市自治会連合会 理事）
中条 操（浜松市老人クラブ連合会 副会長）
小木野 安孝（浜松市ボランティア連絡協議会 副会長）
山下 文彦（社会福祉法人浜松市社会福祉協議会 常務理事）
坂井 久司（浜松市民生委員児童委員協議会 副会長）
水谷 秀夫（浜松市社会福祉施設協議会 理事）
藤島 百合子（一般社団法人浜松市医師会）
池谷 千香子（公益社団法人静岡県看護協会 西部地区支部）
酒井 昌子（聖隷クリストファー大学 教授）
露木 里江子（浜松市議会）
- 事務局（14人）
- 高齢者福祉課 亀田課長 鈴木担当課長 大石課長補佐
鈴木G長 内山G長 大場G長 山根G長 中野 宮崎
健康医療課 西崎次長兼課長
介護保険課 大村課長 鈴木専門監兼課長補佐
健康増進課 渥美課長
ウエルネス推進事業本部 原川参事兼副本部長
- 4 傍聴者 1人
- 5 議事内容 (1) はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について
- 6 会議録作成者 高齢者福祉課 生きがい・長寿政策グループ 宮崎
- 7 記録の方法 発言者の要点記録 録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(酒井会長)

議事の公開非公開について、個人情報などの非公開情報を審議する予定はないので公開としたいが、よろしいか。

(異議なし)

(1) はままつ友愛の高齢者プラン（素案）について

(酒井会長)

(1)のはままつ友愛の高齢者プラン（素案）について、事務局から説明願いたい。

(亀田高齢者福祉課長)

資料に基づき説明

(酒井会長)

事務局から説明されたが、何か意見や質問はあるか。

(山下委員)

「ACP」等の専門用語は意味がわからないと思う。また、元号と西暦の不一致を修正願いたい。

(亀田高齢者福祉課長)

用語集の活用を検討する。修正について承知した。

(中条委員)

文章が長くて読みづらいので3行くらいにしたほうがよい。

(亀田高齢者福祉課長)

そのように努める。

(石川委員)

「70歳現役都市・浜松」について、周知が不足しているように思うがいかがか。

(亀田高齢者福祉課長)

もっと周知するよう努力する。

(酒井会長)

図表の内容が、全国のものなのか浜松市のものなのかわかりづらい。浜松市の現状が分かったほうがよいと思う。

(亀田高齢者福祉課長)

完成までに整える。

(山下委員)

地域共生社会の実現について、前回会議の内容は反映されているか。8月31日の厚生保健委員会ではどのような意見があったか。

(亀田高齢者福祉課長)

前回会議の内容の反映はこれから行う。厚生保健委員会では、皆さまからいただいたご意見についての報告のみで、委員会からの意見はいただいていない。現在策定中の地域福祉計画の内容とも調整しながら、本プランの策定を進めていく。

(中条委員)

コラムにある4つの「助」のイメージを説明願いたい。高齢者どうしの支えあいは互助にあたるか。

(亀田高齢者福祉課長)

具体的な内容は検討中だが、地域福祉計画では、自分のことを自分とする「自助」、住民組織の活動など自発的に相互的に支えあう「互助」、社会保険制度などの費用負担の制度的な裏付けをもとに相互的に支えあう「共助」、税による公のプランに基づく「公助」と表現している。高齢者どうしの支えあいは互助にあたる。

(酒井会長)

P25の3施策体系図は4章の最後に位置するが、5章のまとめにもなっている。わかりやすく構成してほしい。

(亀田高齢者福祉課長)

4章と5章をつなぐ位置づけにある。よりわかりやすくなるよう検討する。

(藤島委員)

P27③選択可能な住まいと自分らしい暮らし方について、グループホームだけ介護保険の施設だが、在宅医療が可能だから載っているという理解でよろしいか。

(亀田高齢者福祉課長)

おっしゃるとおり。暮らしの場として記載している。

(中条委員)

ウェルネスシティの推進は、以前から実施していたことか。

(亀田高齢者福祉課長)

そのとおり。

(藤島委員)

P29⑤自立支援、介護予防・重度化防止について、ロコトレ事業の記載がないがいかがか。

(鈴木担当課長)

事業の見直しを検討しているため本プランへの記載は見送るが、事業は存続している。

(水谷委員)

認知症施策について、認知症の人が起こした事故に対する保険制度に関する取組はあるか。

(鈴木担当課長)

現時点ではない。市民の皆さまにご協力いただき、地域の見守りによる早期発見に力を入れている。

(藤島委員)

P35にも「ACP」の記載があるが、ACPの愛称である「人生会議」は浜松発祥のことばであることを踏まえ、山下委員のおっしゃっていたように、最初に丁寧に記載するか用語集に記載すべき。

(酒井会長)

前回はコラムに記載があったがいかがか。

(大村介護保険課長)

前回同様にコラムに記載すべきと考える。

(藤島委員)

P29⑤自立支援、介護予防・重度化防止について、記載内容に統一感がなくわかりにくい。

(鈴木担当課長)

各課の事業内容を、現状と課題の順番に記載しているが、対象や目的が異なるため、統一感がなくなっている。わかりやすく整理する。

(酒井会長)

課題を整理することでわかりやすくなると思う。

(水谷委員)

若年性認知症を念頭に、高齢者だけでなく中高年の方を対象とした、社会参加等の施策を具体化できるといい。

(鈴木担当課長)

具体的な施策は提示できないが、P36のとおり、若年性認知症に関する取組みについては示していきたい。

(中条委員)

フレイル予防について、県労連や市労連で重視しているほか、各クラブにおいても積極的に取り組んでいることを報告する。

(藤島委員)

P36【現状と課題】2つ目の「○実態調査から、…」に「施策の周知が進んでいない現状」とあるが、【施策の方向と主な事業】には施策の周知のための事業が見当たらないがいかがか。

(鈴木担当課長)

認知症講演会等において施策の周知も行うが、施策周知に直結するような事業についての記載を検討する。また、現プラン P42【施策の方向と主な事業】2つ目の「○認知症に関する知識…」の内容を更新して記載する。

(酒井会長)

P28にある外出支援施策の検討・実施について、具体的にはどのようなことがあるか。

(亀田高齢者福祉課長)

地域によっては先進的な取り組みを行っているところもあるが、地域性が大きく影響することから、地域ごとの取り組みを、地域と一緒に検討していきたいと考えている。

(水谷委員)

P37の経済連携協定(EPA)について、市は今後も支援していくということか。

(大村介護保険課長)

EPAによる外国人介護人材の受け入れ事業所に対して、平成30年度から2分の1の助成を行っているが、受け入れ人材が少なくなってきたことや関連団体の実態が不明確であることに加え、当初は様々な法人の横展開による心配事の共有も目的としていたが、近年、法人の固定化が進んでいること等の理由から、支援の見直しを検討する。

(水谷委員)

外国人留学生が増えており、県では奨学金制度もあるようだが、市としてはいかがか。

(大村介護保険課長)

県が実施しているので市としては実施しない。県制度を活用してほしい。

(酒井会長)

地域共生社会の実現において、住民に対する施策の周知が不十分である。地域共生社会は、住民が自ら助け合いたいという思いで参画するもの。P26にある生活支援体制づくり協議体については、その存在を周知することが大切。どんなニーズ

を抱えた人が地域にいるのかを共有していかなければならない。

(坂井委員)

私が参加している協議体では、買物支援をテーマに取り組み、マルシェを開催したが、協議体には事業費として使えるお金がなかった。事業を行うための予算をつけるよう検討してほしい。

(山下委員)

P 26①地域共生社会の実現は基本目標ではないか。他の施策との並びで施策名として扱うのに違和感をおぼえる。P 39 の7つの重点施策においても同様で、施策ではないように思う。

(亀田高齢者福祉課長)

検討する。

(坂井委員)

P 40 重層的支援体制整備事業について、具体的な内容を説明願いたい。

(亀田高齢者福祉課長)

P 40 下図は地域福祉計画から転記したもので今後体裁を整える予定だが、この図のとおり、包括的相談支援や他機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業からなる「属性を問わない相談支援」と、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援からなる。3つの支援を一体的に行うことで、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する。

(酒井会長)

これは国の施策の言葉だと思うが、言葉がいくつもあり何の何を表しているのかがよくわからない。

(亀田高齢者福祉課長)

言葉の使い方について検討する。

(酒井会長)

次回の審議会でも最終版となるのか。

(亀田高齢者福祉課長)

パブコメを経て最終版となる。

(藤島委員)

P 47 (2) ③にある「自宅で過ごすことを希望する市民」という表現は誤りなの

で修正してください。

(鈴木担当課長)

承知した。

(藤島会長)

他にも気づいたことがあれば事務局へ伝えるということによろしいか。

(亀田高齢者福祉課長)

そのようにお願いしたい。

(酒井会長)

それぞれの立場からの貴重なご意見をいただいた。本日のご意見を、第4回分科会で示す予定の次期プランの案に反映してください。

以上で議事を終了する。

4 連絡事項

5 閉会